

仙台市水道局水安全管理対応マニュアル

(概要版)



令和 6 (2024) 年 4 月

仙台市水道局

仙台市水道局水安全管理対応マニュアルの策定



策定の目的

本市では、これまで市民のみなさまに安全・安心で良質な水道水をお届けするために、水源水質の保全や監視、適切な浄水処理、蛇口におけるきめ細かな水質検査を実施し常に水質管理に万全を期してきましたが、更に水質管理をより一層徹底することがもとめられております。

今回、より高い水準の水質管理体制を構築するため、世界保健機関（WHO）が提唱した HACCP(ハサップ)の考え方を基に、水源から蛇口に至るまでのあらゆる過程での危害を分析・評価しその対応に応じた管理措置等を取りまとめた「仙台市水道局水安全管理対応マニュアル」を策定しました。

※HACCP（ハサップ）とは、Hazard Analysis and Critical Control Pointの略で危害分析・重要管理点と訳されます。

基本理念及び基本方針の設定

本市の水安全管理対応マニュアルの策定に当たって、「基本理念」を明確にするとともに、「基本方針」を設定しました。

[基本理念]

水は、人間が生きていくために欠かせないものです。本市では、水源から蛇口までの水質管理及び水道施設の維持管理を徹底することにより、より安全で良質な水道水の確保を目指します。

[基本方針]

本市は、水源から蛇口に至るまでの過程において、水道水質に影響を及ぼす可能性のある全ての危害を分析し、その管理方法を統一的かつ機能的マニュアルで整備します。

それらを運用することによって、水質管理を徹底するとともに、技術力の維持・向上を図り、水道水質の安全性を更に向上させます。

水安全管理対応マニュアルでの水質管理手法

Hazard Analysis (危害分析)



(何が危害の原因となるかを明確にする。)

- 水源から蛇口までのあらゆる過程において、水道水の安全性を脅かす全ての危害を特定し、その種類・発生箇所、発生頻度及び影響度の大きさを危害評価しました。

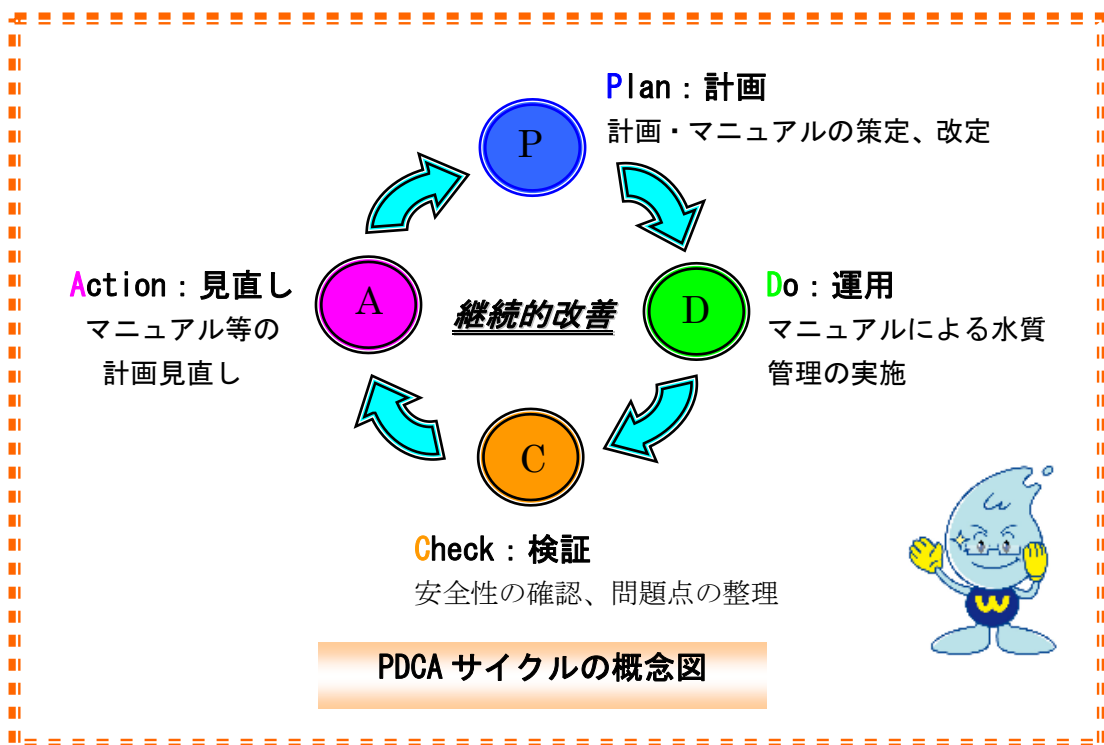
Critical Control Point (重要管理点)

(危害を管理する重要管理点を水源から蛇口まで設定し、対応策を整理する。)

- 危害評価で特定した危害について、その重大さに応じ危害の影響を未然に防止するための管理対応措置を設定し、マニュアルで整理しました。
- マニュアルは、危害対応での基本的な考えかたを統一的なものとし、危害が発生した場合、連絡体制や的確な対応を確保できる標準対応マニュアルとして整備しました。
- 関連部署では、予めこの標準対応マニュアルに基づいた現場での具体的な管理対応策を定め共有しておくことで、より徹底した管理体制が高められ、いざというときには、危害への的確かつ迅速な対応をとることができます。

水安全管理対応マニュアルの運用と効果

- これまで培ってきた水質検査及び水質管理への様々な取り組みのノウハウを機能的なマニュアル化として定型化することで、危惧される技術力の低下を防ぎ、水質管理能力の向上が一層高められます。
- 危害が発生した場合、関係部署で共有しているので、より迅速・的確な対応を行い水質への影響を未然に防ぐことができ、安全で良質な水道水をお客様へお届けすることができます。
- PDCAサイクルを用いて定期的に計画や対応マニュアルでの運用状況を検証、見直しすることで、水道水の将来にわたる安全性の確保や水質管理に関する高い技術力の維持・向上をはかることができます。



水安全管理対応マニュアルのイメージ



将来にわたって安全・安心で良質な水道水をお客さまにお届けします。

